202年3月期 決算説明資料

202年6月3日

芝浦機械株式会社

202年3月期 決算概要

- 1) 決算のポイント
- 2) 対業績予想
- 3) 対前年度

決算のポイント

前年度比 増収·増益

■ 受注

- ・ 受注環境は堅調に推移し、前年度比では日本・北米・中国を中心に 全セグメントで大幅に増加
- EV関連設備投資需要の拡大に伴い、リチウムイオン電池向けセパレータフィルム製造装置が大幅に増加
- ・ 北米における脱炭素化の動きを背景に中大型電動式射出成形機の増加、 経済活動が活発化しているインドにおいて射出成形機の増加

■ 売上

- 中国・インド・東南アジア・北米など海外を中心に全セグメントで増加
- 営業利益·経常利益·当期純利益
- ・ 売上規模増加、国内外生産工場の操業度改善、円安による増益効果等 により前年度比増益

業績サマリー(対業績予想)

(単位:億円)

	2021 年度 実績 (A)	2021年度 公表予想 (2021/11/7公表値) (B)	増減 (A-B)
売 上 高	1,077	1,130	△ 53
営 業 利 益	42	43	△ 1
利益率	3.9%	3.8%	+0.1pt
経 常 利 益	45	38	+7
利益率	4.2%	3.4%	+0.8pt
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	37	28	+9
利益率	3.5%	2.5%	+1.0pt
受 注 高	1,642	1,550	+92
為替レート(USD)	122 Ħ	107 ⊓	

- 新型コロナウイルス感染症再拡大に伴い、主に据付・検収遅れにより、売上高・営業利益は減少
- > 為替水準が想定を上回る円安の影響等により、経常利益・当期純利益は増加

対業績予想 受注高 (セグメント)

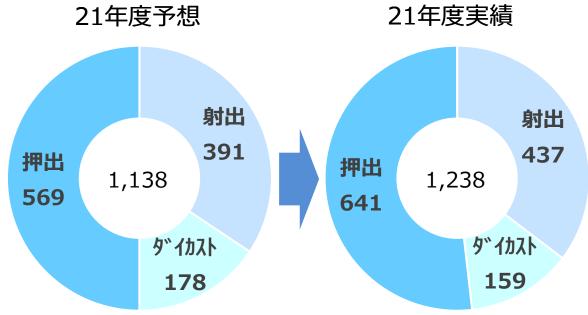
Shibaura Machine



(単位:億円)

成形機内訳

射出 : 射出成形機 ダイカスト : ダイカストマシン 押出 : 押出成形機



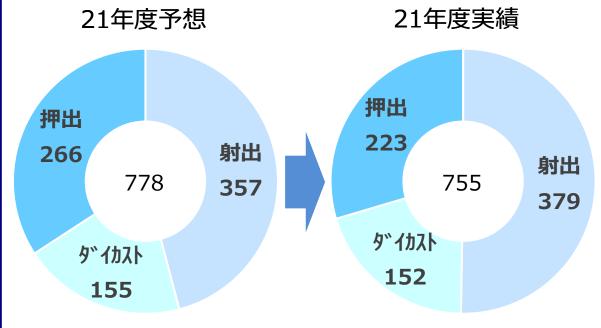
対業績予想 売上高 (セグメント)

Shibaura Machine



(単位:億円)

成形機内訳



業績サマリー (対前年度)

Shibaura Machine

(ご参老)

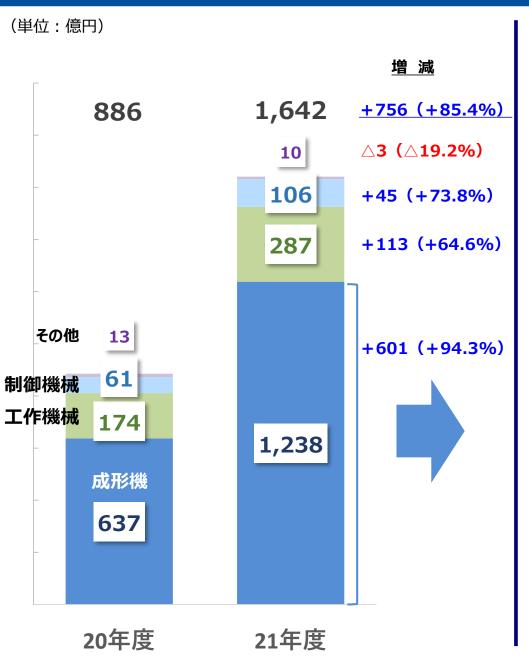
(単位:億円)

				(こ)	77
	2021年度実績 (新基準) (A)	2020年度実績 (旧基準) (B)	増減 (A-B)	2021年度実績 (旧基準) (C)	増減 (C-B)
売 上 高	1,077	926	+151	1,095	+169
営業利益	42	3	+39	37	+34
利益率	3.9%	0.4%	+3.5pt	3.4%	+3.0pt
経 常 利 益	45	8	+37	40	+32
利益率	4.2%	0.9%	+3.3pt	3.7%	+2.8pt
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	37	△ 28	+65	32	+60
利益率	3.5%	<i>△</i> 3.1%	+6.6pt	2.9%	+6.0pt
受 注 高	1,642	886	+756		
為替レート(USD)	122 🖪	111 ฅ			

※2021年度1Qより収益認識基準を変更いたしました。 本資料は、2020年度以前は旧基準、2021年度1Q以降は新基準にて表示しております。

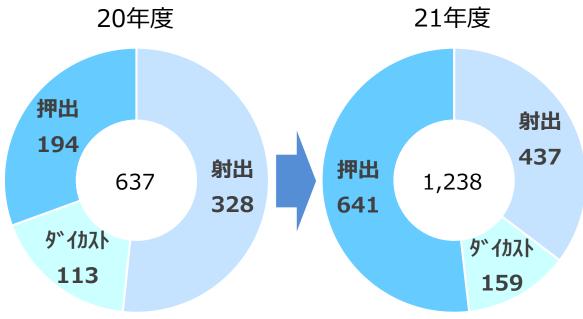
受注高(セグメント)

Shibaura Machine



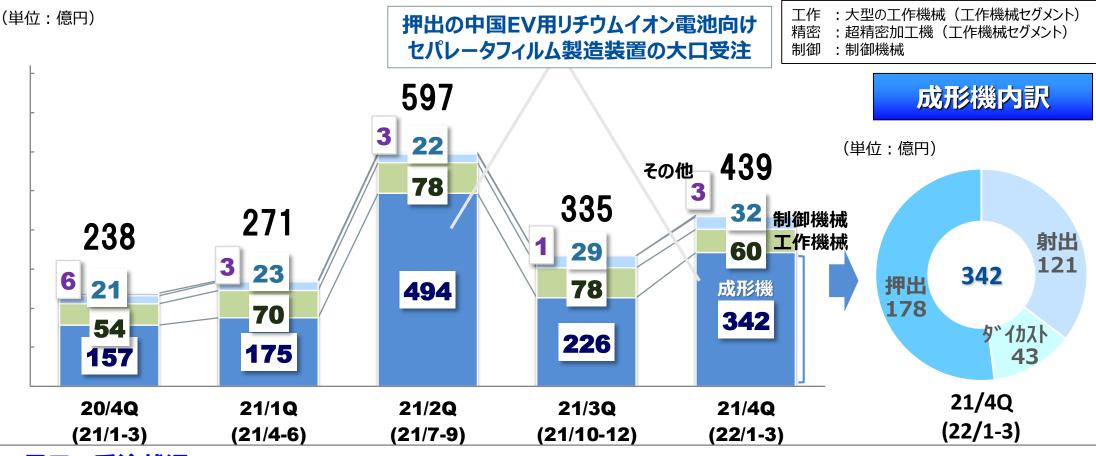


(単位:億円)



受注高推移(セグメント)

Shibaura Machine



足元の受注状況

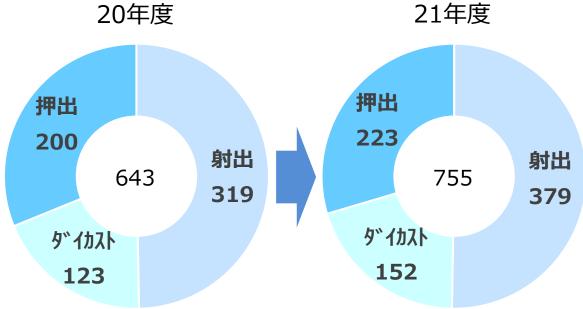
- ▶ 【射出】 北米における脱炭素化の動きを背景に中大型電動機の増加、インド市場活況
- ▶ 【押出】 中国におけるEV用リチウムイオン電池向けセパレータフィルム製造装置の需要継続
- ▶ 【工作】 国内における産業機械向け、建設機械、北米におけるエネルギー関連向け増加、
 - 中国における風力発電向け堅調
- ▶ 【精密】 国内、中国における車載用レンズ金型向け増加
- ▶ 【制御】 国内における電子制御装置増加

売上高(セグメント)

Shibaura Machine

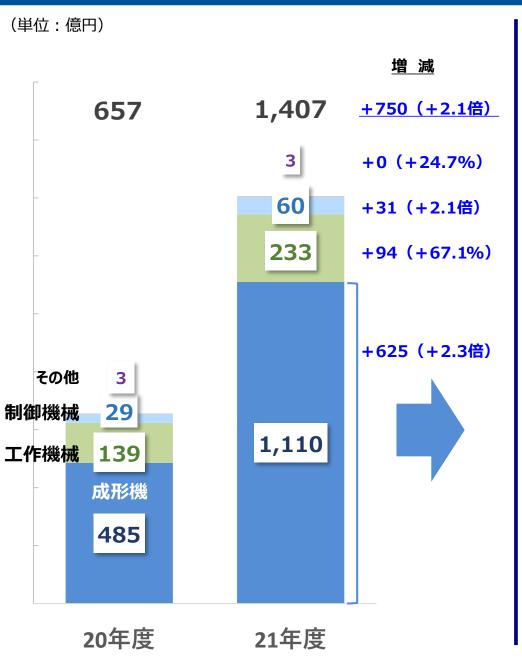






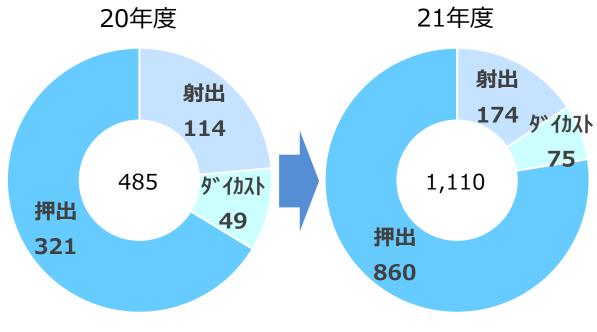
受注残高(セグメント)

Shibaura Machine



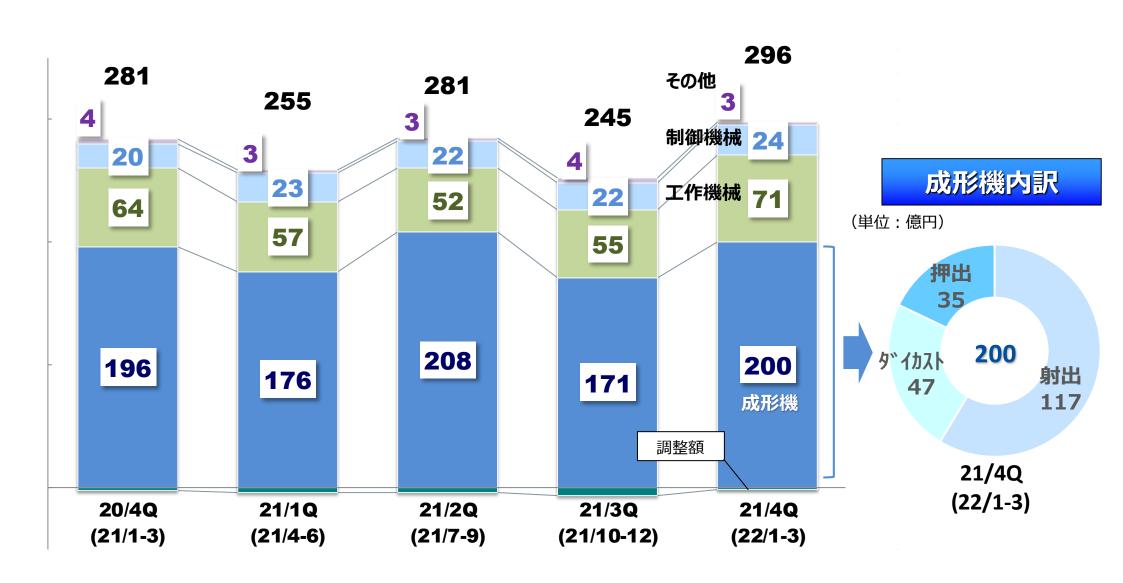
(単位:億円)

成形機内訳



売上高推移(セグメント)

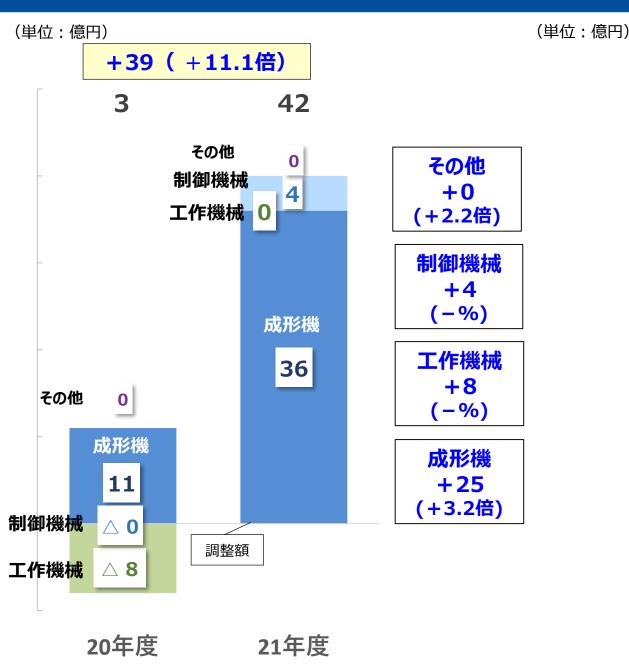
(単位:億円)

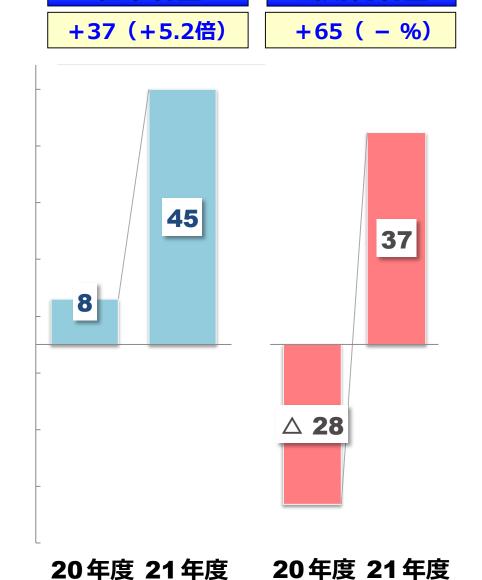


営業利益(セグメント)・経常利益・当期純利益

Shibaura Machine

当期純利益





経常利益

(成形機) セグメント業績

(単位:億円)

(射出成形機・ダイカストマシン・押出成形機など)

	21年度	20年度	増 減 額	増 減 率
売上高	755	643	+112	+17.5%
営業利益	36	11	+25	+3.2 倍
利益率	4.9%	1.8%	_	+3.1pt

業績要因分析



ポジティブ・ファクター

- ▶ 【射出】 医療・容器向け需要が堅調、インド等海外向け売上増加
- ▶ 【ダイカスト】中国・東南アジアにおける自動車向け需要増加
- ➤ 【押出】 中国におけるEV用リチウムイオン電池向けセパレータ フィルム製造装置の増加



ネガティブ・ファクター

- ▶ 半導体等の部材調達難・コスト上昇および物流の停滞・コスト上昇
- > コロナ禍影響による据付・検収遅延

(工作機械) セグメント業績

(単位:億円)

(工作機械、超精密加工機など)

	21 年度	20年度	増 減 額	増 減 率
売上高	236	208	+28	+13.1%
営業利益	0	△ 8	+8	_
利益率	0.0%	△ 4.0%	_	+4.0pt

業績要因分析



ポジティブ・ファクター

- >【工作】中国における産業機械・風力発電向け増加
- ▶【精密】中国・台湾における車載用・スマートフォンレンズ金型向け堅調



ネガティブ・ファクター

- ▶ 【工作】国内における産業機械向け減少
- ▶ 部材調達コスト上昇およびコロナ禍影響による据付・検収遅延

(制御機械) セグメント業績

Shibaura Machine

(単位:億円)

(産業用ロボット、電子制御装置など)

	21 年度	20年度	増 減 額	増 減 率
売上高	92	73	+19	+24.7%
営業利益	4	△ 0	+4	_
利益率	4.6%	△ 0.5%	_	+5.1pt

業績要因分析



ポジティブ・ファクター

> 国内の電子制御装置増加

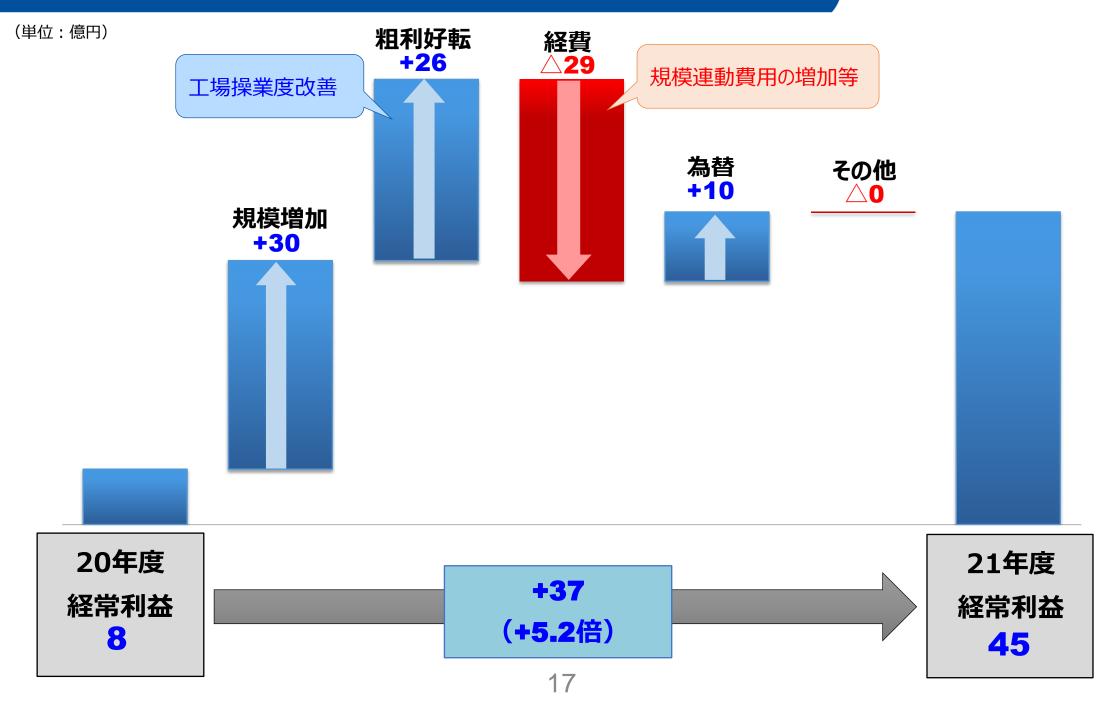


ネガティブ・ファクター

> 半導体等の部材調達難・コスト上昇

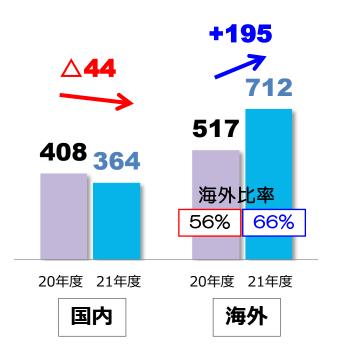
経常利益分析

Shibaura Machine



国内·海外売上高

(単位:億円)



➤ 国 内: 🧪 【制御】増加

★ 【押出】【工作】減少

▶ 中 国 : <a>→ 【射出】【ダイカスト】【押出】

【工作】【精密】増加

▶ 東南アジア : <a>→ 【射出】【ダイカスト】増加

→ イ ン ド : → 【射出】【ダイカスト】増加

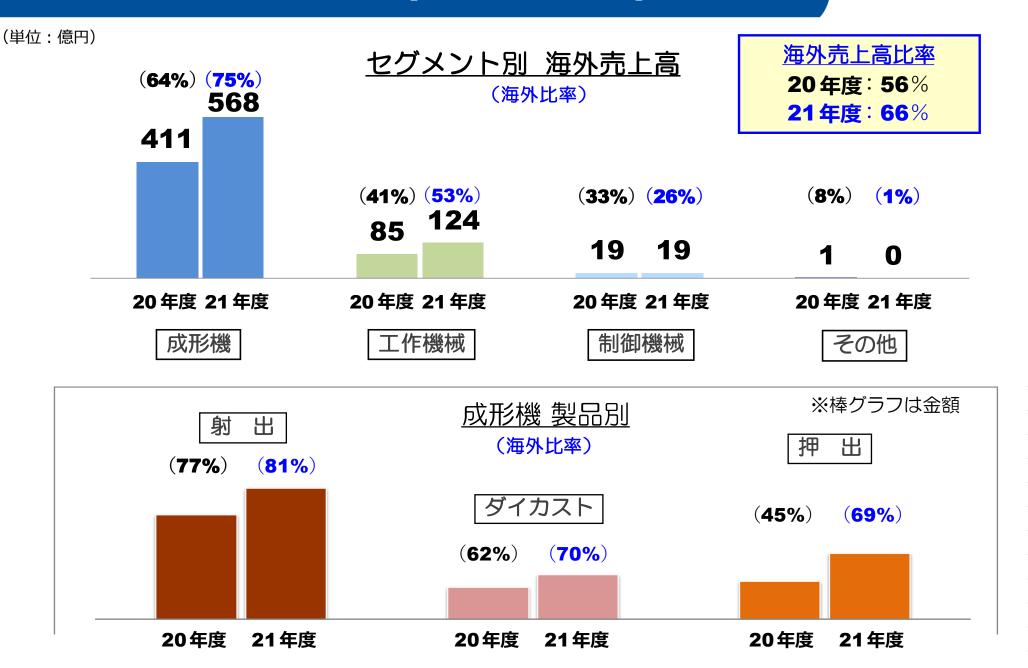
> 北米・メキシコ: 【射出】【工作】増加

海外地域別売上高



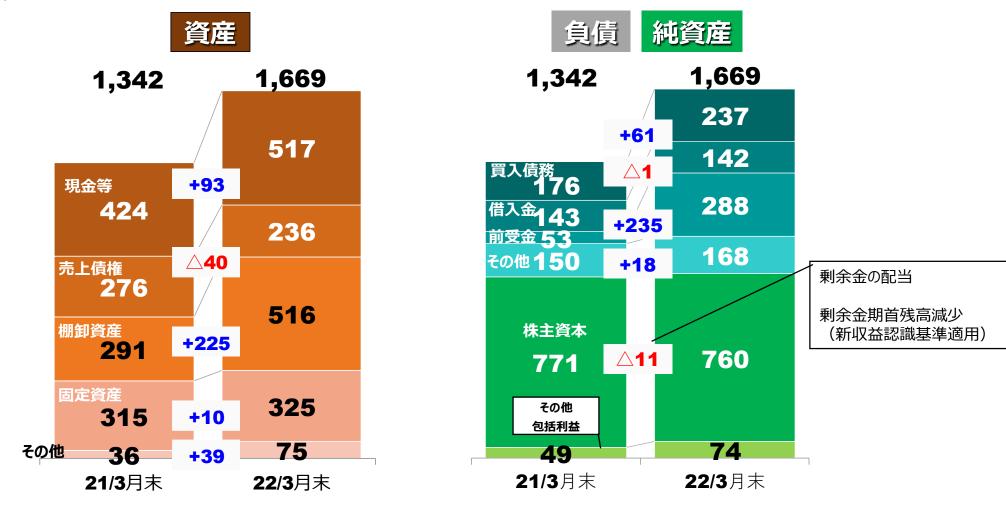
海外売上高・比率(セグメント別)

Shibaura Machine



貸借対照表

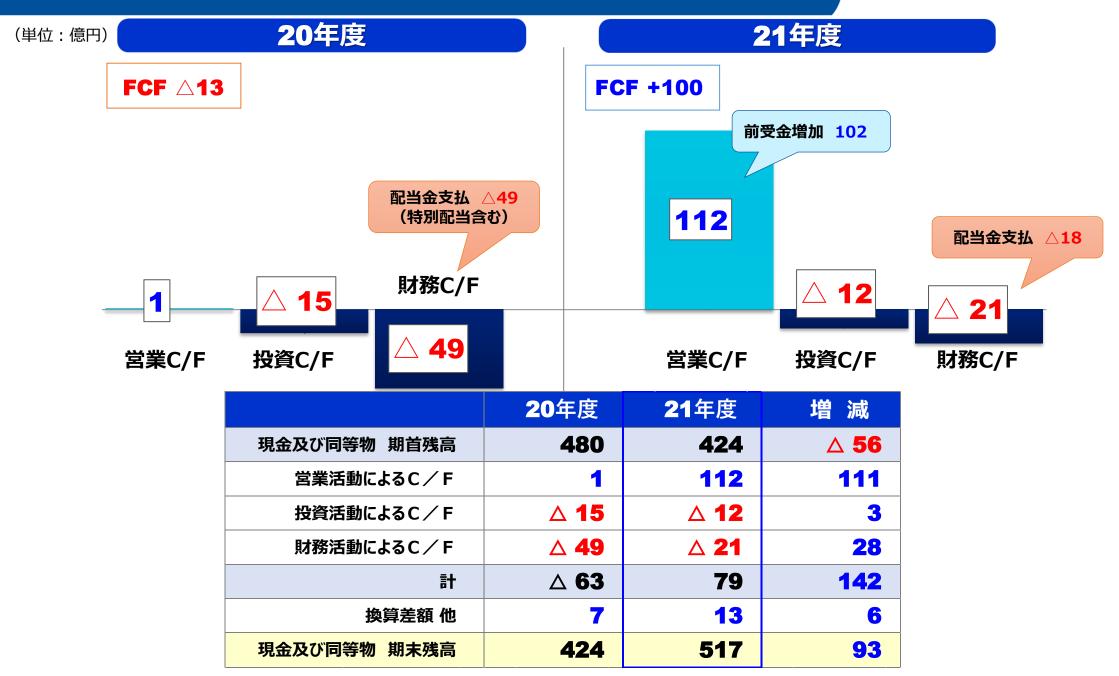
(単位:億円)



	21/3月末	22/3月末
自己資本比率	61.2%	50.0%
D/E比率	17.5%	17.0%

キャッシュ・フロー計算書

Shibaura Machine



2023年3月期 業績予想

- 1)業績予想
- 2)研究開発費、設備投資·減価償却費
- 3)配当予想

業績予想について

- ・中国のロックダウンの影響、部材調達難・価格高騰などのリスク要因が多く 予想が困難
- このような状況下ではあるが、経営改革プラン(最終年度2023年度)で掲げた、期間中の2022年度の売上高1200億円、営業利益60億円は最低限達成 足元の受注残高、受注環境を踏まえれば十分達成できる計画と考えている
- 予想が困難な状況のため通期のみの開示としている第2四半期(累計)については業績見通しが判り次第開示する

202年度 業績サマリー

Shibaura Machine

(単位:億円)

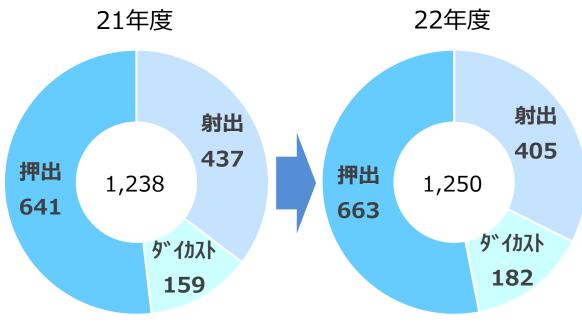
	2022年度 予想 (A)	2021年度 実績 (B)	増減 (A-B)
売 上 高	1,200	1,077	+123
営 業 利 益	60	42	+18
利益率	5.0%	3.9%	+1.1pt
経常利益	54	45	+9
利益率	4.5%	4.2%	+0.3pt
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	42	37	+5
利益率	3.5%	3.5%	+0.0pt
受 注 高	1,670	1,642	+28
為替レート(USD)	120 P	122	

受注高(セグメント)

Shibaura Machine





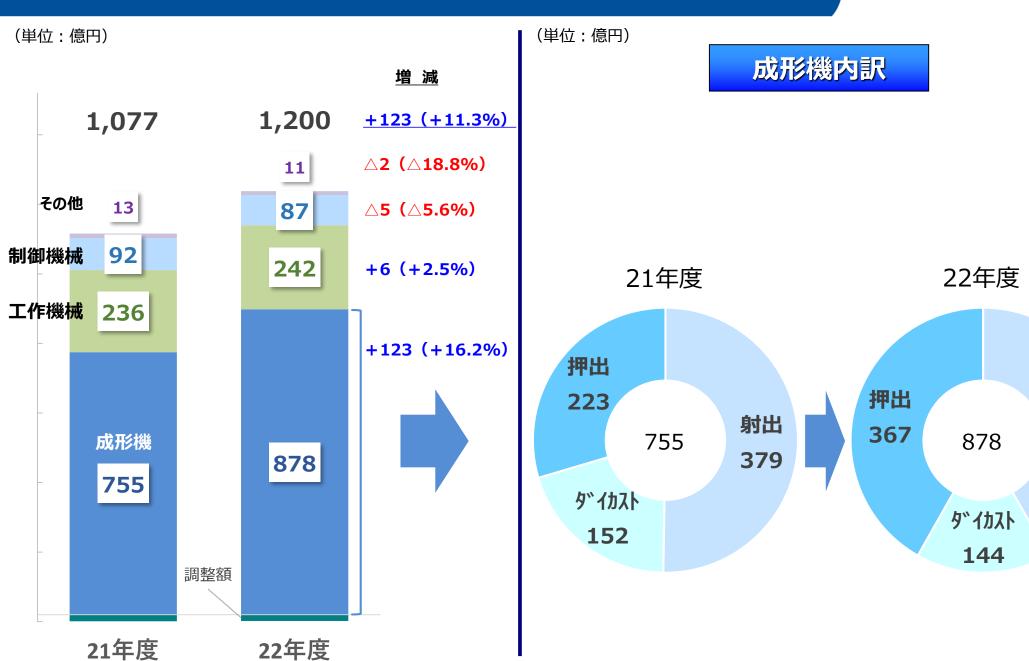


売上高(セグメント)

Shibaura Machine

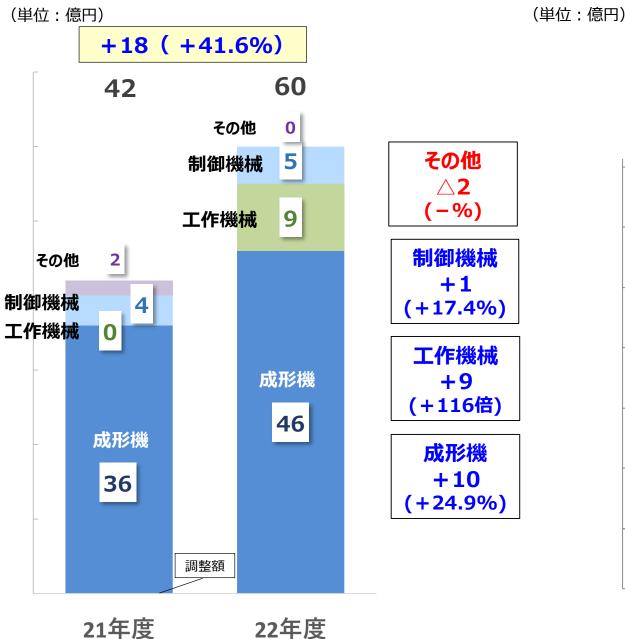
射出

367

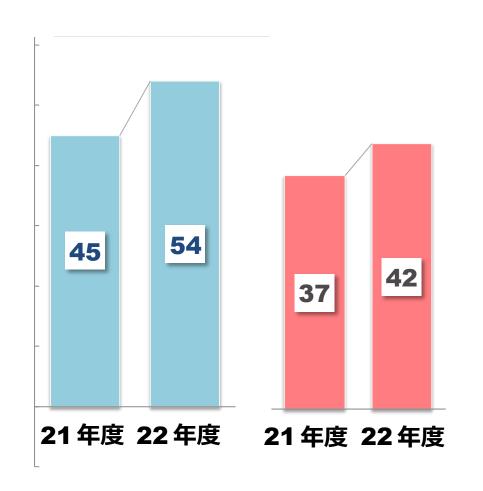


営業利益(セグメント)・経常利益・当期純利益

Shibaura Machine



経常利益 当期純利益 +5 (+12.7%) +9 (+18.8%)



(成形機) セグメント業績

(単位:億円)

(射出成形機・ダイカストマシン・押出成形機など)

	22 年度	21年度	増 減 額	増 減 率
売上高	878	755	+123	+16.2%
営業利益	46	36	+10	+24.9%
利益率	5.2 %	4.9%	_	+0.3pt

業績要因分析



ポジティブ・ファクター

- > 国内外自動車(EV含む)関連需要の増加
- ▶ 【射出】北米における脱炭素化の動きを背景に中大型電動機の増加
- ➤ 【押出】中国におけるEV用リチウムイオン電池向けセパレータフィルム 製造装置の増加



ネガティブ・ファクター

- ▶ 半導体等の部材調達難・コスト上昇および物流コスト上昇
- ▶ 中国におけるロックダウンによる影響

(工作機械) セグメント業績

(単位:億円)

(工作機械、超精密加工機など)

	22年度	21年度	増 減 額	増 減 率
売上高	242	236	+6	+2.5%
営業利益	9	0	+9	+116倍
利益率	3.7%	0.0%	_	+3.7pt

業績要因分析



ポジティブ・ファクター

- ▶【工作】国内における産業機械・建設機械および北米のエネルギー 関連向け需要の増加
- ▶【精密】中国における車載用・AR/VRレンズ金型向け堅調



ネガティブ・ファクター

▶ 半導体等の部材調達難・コスト上昇

(制御機械) セグメント業績

(単位:億円)

(産業用ロボット、電子制御装置など)

	22年度	21年度	増 減 額	増 減 率
売上高	87	92	△ 5	△ 5.6%
営業利益	5	4	+1	+17.4%
利益率	5.7%	4.6%	_	+1.1pt

業績要因分析



ポジティブ・ファクター

- ▶ 中国におけるスマートフォン・EV用バッテリー関連向けロボット需要増加
- ▶ システムエンジニアリング案件需要増加



ネガティブ・ファクター

> 半導体等の部材調達難・コスト上昇

研究開発費、設備投資·減価償却費

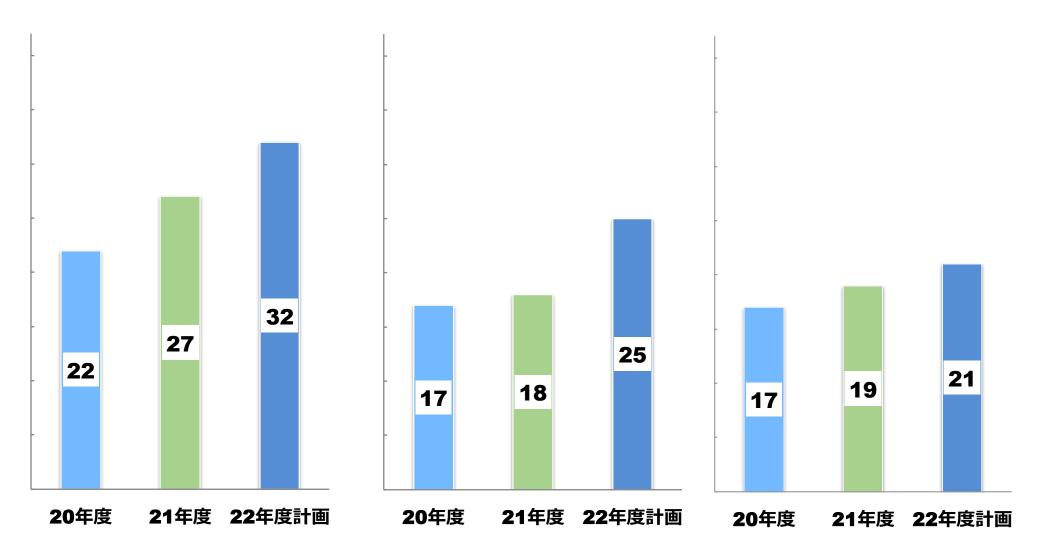
Shibaura Machine

(単位:億円)

研究開発費

設備投資

減価償却費



配当予想

配当金の決定に関する方針

当社は、収益性の向上に向けて経営体質の強化を図りながら、安定配当を維持し、業績に応じた利益配分をしていくことを基本方針としております。

利益剰余金につきましては、企業の継続的発展のため将来の事業展開等を戦略的に判断し、生産設備、技術開発、海外展開等に有効に投資していくとともに、継続して株主の皆さまへの適正な利益還元を実施してまいります。

	第2四半期末	期末	年 間	配当性向 (連結)
2021年3月期	37.5円	37.5円	[※] 199.3円	_
2022年3月期	37.5円	37.5円	75.0円	48.6%
2023年3月期 (予想)	37.5円	37.5円	75.0円	43.1%

^{※ 2020}年6月30日を基準日として総額約30億円(1株当たり124円30銭)の特別配当を実施しており、 2021年3月期の年間合計には特別配当124円30銭を含んでおります。

芝浦機械株式会社

〒100-8503 東京都千代田区内幸町2-2-2 富国生命ビル TEL (03)3509-0444 FAX (03)3509-0333 URL : http://www.shibaura-machine.co.jp/